

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students

プロフィール (Profile)



氏名 (Name) M.S.
所属 (School) 工学域 電気電子系学類
学年 (Grade) 2年

留学先 (Name of overseas institution)
Universiti Malaya
留学期間 (study abroad period)
2021/8/9~2021/8/27

記入日 (Date) 2021/8/29

留学レポート Study Abroad Report

● プログラムの概要

このオンラインプログラムは3週間に渡って行われ、主に英語能力の向上とマレーシア文化を学ぶことが目的のプログラムだと思います。英語の4技能について学びますが、1度は日本語で学んだことのある内容が多くあると思うので授業内容が全く分からなくなるということはないと思います。(勿論新しく習う内容もあるので、授業自体が簡単な訳ではないです。)他のオンラインプログラムとの一番大きな差は、バディ制度だと思います。この制度では、2人の日本人学生につき1人のマラヤ大学の生徒がついて色々授業に関することや日常生活について教えてくれるのですが、事務的なものではなく思っていたよりもかなりフレンドリーな話ことができました。最終的には3人のグループで会話をすることが殆どになり、授業時間以外もずっと連絡をとっているイメージがありました。又、マレーシアの英語は訛りが強いとよく言われますが、少なくとも授業中には良く言われるマレーシア英語の特徴の一つである語尾に“lah”がつくようなことはないのので、それに関しても心配する必要はないと思います。(イギリス英語寄りなのでスベルなどで少し混乱することはあるかも知れません。)

● 授業について

1コマ2時間の授業が毎日2回あります。授業の種類は5種類あり、“Malaysian Studies”, “Writing and Composition”, “Speaking and Pronunciation”, “Grammar Usage”, “Reading and Vocabulary”から成ります。休日を除く1週間で10コマ(2×5)あるので各々の授業が2コマずつ振り分けられており、プログラムは3週間続くので最終的に5つの種類の授業をそれぞれ6回受けることとなります。Zoomを使って授業を行い、今回は68人の学生(45人が日本人の学生、23人がマラヤ大学の学生)と1人の先生と一緒に授業を受けるという形でした。基本的に授業中に指されることはないのでも積極的に発言していくことが求められていました。授業中に、zoomの中の機能の一つであるブレイクアウトルームに分かれてグループで話し合うことが頻繁にあったのでここでは学生数が少ない分発言がしやすいと思います。多少時制や文法が間違っても、しっかり聞こう・理解しようとして貰えるのでスピーキングに慣れていない学生でも安心して参加できるプログラムだと思います。

● 学生同士の交流時間について

授業が14時30分に終わり15時30分から18時30分までが交流時間となっています。この時間ではマレーシアの学生がマレーシア文化、伝統的な服装・食事、観光スポットに関して紹介してくれたり、一緒に映画を見たり、人狼などのオンラインでも出来るゲームをしたりしました。授業で出される課題にグループ課題がいくつかあったので土曜日にも集まったり、夜の22時から深夜の2時くらいにも集まることがあり予定以上に交流時間があったイメージがあります。そもそも、この時間は授業とは違い強制参加ではありませんが、8,9割程度の学生が毎回集まっていたと思います。(上の写真は交流時間内の様子です)

● 今後について

今回のこのプログラムは楽しかったことだけではなく、自分の英語能力の低さを実感する良い機会になったと思います。例えば、三単現のs、12個の時制の使い分け、複数形の単語にsをつけるなど、書いているときには意識できている簡単な文法も、話すとなると急に出来なくなってしまっていました。アクセントや発音も正しくないと自分の言っていることが伝わらないので、このプログラムは自分の発音を見直す良い機会になったと思います。又、今まではあまり意識していませんでしたが、何か英語の文章に触れる時に使いやすいフレーズを見つけようとする習慣が少しできました。will と be going to の意味の違いなども言葉の上では知っていましたが、本当に伝わる意味が変わってくることを実感できたので日本語訳が同じでも、違うニュアンスをもつ英単語はその意味をしっかり掴んで使い分けたいと思いました。